

第1学年 1・2組男子 保健体育科学習指導案 田ノ上将志

1 日時・場所 平成27年10月23日(金) 第5校時 【武道館】

2 題材について 「柔道」 *学習指導要領 体育分野F 武道

(1) 題材観

武道は、武技、武術などから発生した我が国固有の文化であり、相手の動きに応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、相手との攻防によって勝敗を競い合い、楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。また、武道の伝統的な考え方を理解し、礼儀や作法を重んじ、規則を守る、協力するなどの公正な社会的態度を身に付け、相手を尊重して練習や試合ができるようにすることを重視する運動である。柔道は、中学校に入学して初めて触れる運動になる生徒が多く、安全面や技を覚えるにあたり、受け身がしっかりとできないといけななど、基礎基本がとても重要視される運動でもある。今日、伝統的な行動の仕方に留意して互いに相手を尊重できるようにするという目的や、他の運動に比べ「礼法」を重んじていることとして、武道に求められるものが多い。

(2) 学習者観

本学級男子27名、(1組13名、2組14名)は、授業への取り組みが前向きで素直である。課題に対して意欲的な生徒が多く、積極的に活動する生徒も多い。しかし、説明や話を聞き逃し指示を理解できずに繰り返し指示をしなければならない生徒もいる。

柔道を経験した生徒は1人で、その他の生徒はほとんど経験がない。柔道が「やってみたい」と答える生徒は約56%で、その理由は「一本とったら気持ちよさそう」などを挙げ、「やりたくない」という理由は「痛そう、怪我しそう、パワーがないとできない」を挙げている。興味関心の差や体力・能力差はあるが、基礎的基本的技能の習得に重点をおいた指導や支援をしていきたい。

(3) わかる授業とするための授業改善の視点

①見える化の工夫

- ・技を師範することで、技のかけ方を理解しやすくする。
- ・タブレットを用い、自分の動きやなかまの動きを観察する補助にする。

②焦点化の工夫

- ・技の動画を見せたり、技をかけたりする時の段階的な写真を用いることで、正確な動作によりスムーズに技がかけられるようにする。
- ・1年時は受け身を中心に技の習得をさせる。
- ・恐怖心を和らげるため、ゲーム的要素を取り入れた練習を行う。

③共有化の工夫

- ・グループ活動を通して、技のポイントを発見したり共有したりできるようにする。
- ・常に相手を思いやる気持ちや礼儀作法も身につけさせていく。

3 題材の構成(全2時間)

時	学 習 課 題	学 習 活 動
1	オリエンテーション	柔道の特性について 柔道着の着方 礼法
2～4	受け身の練習	後ろ受け身・横受け身・前回り受け身
5～7 本時	抑え技の練習・ミニゲーム	けさ固め・横四方固め
8	振り返りと評価	受け身と抑え技のテスト

4 本時の学習活動

(1) 本時の目標

- ① けさ固めを使って抑え込みの条件を満たして相手を抑えることができる。
- ② けさ固めのポイントに気付き、相手と攻防することができる。

(2) 本時の学習指導過程

学習内容及び活動	発問・助言・準備など	指導上の留意点
1 挨拶・健康観察をする。 ○座礼で行う。	・「礼に始まり礼に終わる」の掲示	・武道の「礼に始まり礼に終わる」の掲示を確認する。 ・相手を敬うことの大切さを確認する。
2 準備体操，基本動作と受け身の練習を行う。	「頭を守って受け身をしよう。」	・受け身は安全に授業を進めていくために大切な技能であることを助言する。 ・間隔を考えて受け身をとらせる。 ・ポイントを意識しているか確認しながら行わせる。
3 本時の課題を知る。	けさ固めのポイントを知り相手と攻防しよう	
4 固め技の基本となる技の約束練習を行う。 ○抑え込みの3条件を確認する。 ○けさ固めの入り方と応じ方の練習を行う。 ○効果的な抑え方を考え、気付きを発表する。	・技の掲示 「けさ固めの効果的な抑え方を見つけよう。」 「相手のどの部位を抑え込めば効率的に抑えられるだろう。」 「技を掛けられる人が見つけやすいかもしれません。」	・けさ固めの入り方と応じ方の映像を見せてイメージさせる。 ・入り方・応じ方を示範する。 ・抑え込む時に相手のどの部位に体重をかければ効率的に抑えられるかを考えさせる。 ・取と受と観察係に分かれて、それぞれの立場で技のポイントを発見するようにさせる。 ・タブレットを使い、取や受の動きを確認しながら、技のポイントを考えられるようにする。 ・グループごとにまとめた気付きを全体に広められるようにする。 ・ポイントをとらえて技をかけられているグループを称賛する。
5 本時のまとめをする。 ○技を実演させながらポイントを説明する。	「けさ固めのポイントを実演しながら説明しよう。」	・抑え込みの3条件を全て満たさないと抑え込みにならないことを確認する。 ・技を実演しながら技のポイント説明させることで、技のポイントの再確認を効果的なものにする。

(3) 評価

- ① けさ固めを抑え込みの条件を満たし、ポイントを意識して抑えることができたか。